

# 通信小海

「恵みとまことに満ちたお方」

牧師 荒<sup>あらかみ</sup> 毅<sup>まこと</sup> 実

イエス様の弟子の一人であったヨハネは、イエス様のことを神が人となつて私たちの住む世界に来てくださったお方であると人々に紹介した人です。ヨハネは、実際にイエス様と寝食を共にし、イエス様のあらゆる姿を見、その奇跡の御業を体験して、イエス様が天の父なる神様のもとから来られたお方であると信じました。そのヨハネが、イエス様のうちに「恵みとまことが満ちておられた」と証言しているのです。

この恵みとは、罪人を愛し救って下さる神の恵みです。ヨハネはイエス様のご人格と御業のうちに、神の恵み、すなわち神の人間に対するいつくしみ

## 【今月のみことば】

「父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」 ヨハネ1…14

を見る事ができたのです。

イエス様は、当時の人々をご覧になり、彼らが滅びに向かつて生きている姿を嘆き悲しまれました。それは、人々が羊飼いのいない羊のように迷い、罪に溺れていたからです。

聖書が教える罪とは、この世界を創造された神様から離れて生きることです。突き詰めて省みれば、自分の主義主張を通し、自分の思いや願いを譲ることの出来ない利己的な自分、お互いを赦し合うことの出来ない愛の冷えた関係は、昔も今も変わらない、罪人である人間の現実の姿です。

この世界を創造された神様は、地上で生きている人間が苦しみ、悩み、互いに傷つけ合う姿を見て悲しんでおられます。決して無関心ではなく、常に人間に心を向け、何とかして人間を救

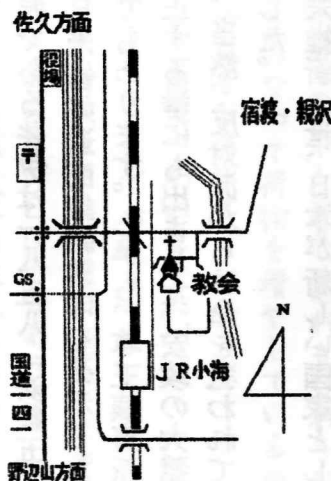
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・一一〇二 TEL 0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

## 見晴台の教会へどうぞ



## 集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

\*初めての方も安心してお越しください。  
\*個人的な聖書勉強やご相談にも遠慮なくお越しください。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

おうと救いの手を差し伸べ続けてくださるお方です。救いとは、神ご自身についての真理を知り、そのいのちに与ることです。

ヨハネは、イエス様のうちに天の父なる神様の人間に対する恵みと同時にまことを見ることができました。ヨハネが見た「まこと」とは、神の真理です。イエス様のうちに神の真理があります。この世界を創造されたお方がどのようなお方であるかを知る唯一の方法は、神のひとり子であるイエス様を知ることです。

自分の力ではどうすることもできない罪を赦すために、十字架に架かって下さったイエス様を仰ぎ見る者は、例外なく、救われるのです。

聖書を開いて読む時、主の恵みとまことに触れることができます。あなたがイエス様を知り、救いに与ることができるよう心からお祈りしています。



## 新連載

### 聖書を読んだサムライたち

もうひとつの幕末維新史

守部 喜雅 【著】

第一章・洋上に浮かんでいた聖書

#### ①

一八六〇年、すなわち安政七年一月、日本の船が初めて太平洋を渡りました。勝海舟ら遣米使節を乗せてアメリカへ出航した咸臨丸です。といっても、そのころの日本には造船技術はありません。咸臨丸はオランダから十万里で調達した七百トンに満たない小型の蒸気船でした。

この船には、慶應義塾を創設した若き日の福沢諭吉も乗り込んでいました。諭吉は同船していたアメリカの漂流民ジョン万次郎から外の世界の情報をむさぼるように吸収していたと

いいいます。元々は蘭学を学んでいた諭吉でしたが、一八五四（安政元）年に日米和親条約と日英和親条約が結ばれ、英語圏の文化流入が本格化してきた時、英語教育の必要性を痛感したのでしよう。

三月には桜田門外の変が起きました。大老として徳川家定に抜擢された井伊直弼が殺害されたのです。井伊は幕府の権威が朝廷の下にあるような情勢は間違っていると考えていた政治家です。開国派である井伊は一八五八（安政五）年に日米修好通商条約調印を公示した人物でもあります。しかも、尊王攘夷派を肅正する挙にも出ました。安政の大獄です。当然、反対派からは命を狙われていました。

幕末維新の世、日本が新しい国家としての生みの苦しみをしているただ中に、愛する我が子を失うという個人的悲しみを内に秘めながら、日本のためにいたい何ができるのか模索し続けていたフルベッキの前には、先が見えない混沌とした闇のような状況だけが広がっていたのかもしれない。

《続く》

## ニチニチソウ

## 日日草・日々想



たんぼぼのわたげ

たんぼぼの花で原っぱ一面が黄色い絨毯になっていて華やかさが落ちてくと、それが綿毛になってふわふわと風に揺られる景色に変わります。この辺りはまだまだ土が多く、都会では見られない数のたんぼぼが群生しているの、綿毛の広がる景色もまた見事です。

「歩いて保育園に行くよ」と張り切って出かける娘との道のりは、まあ長いこと！何歩か歩けば花を摘み、また何歩か歩けば石を拾い……と、一時停止ばかりでなかなか進みません。けれども、自分一人では味わえない楽しい時間にもなります。本当に、子どもは楽

しいこと、好きなことをして豊かな時間を過ごす天才ですね。大人のように目的達成思考に偏らず、朝の登園時間さえ、お散歩を楽しむ時間に換えられるのですから。一緒にいると、普段は見逃してしまう景色や感覚を教えてくれ、宝物のような一瞬に気付くゆとりを与えてくれます。

「あ、たんぼぼ！」と言ってかけていき、綿毛を摘むとふーっと吹いて、風に乗って飛んでいくのを追いかけたり、舞い上がっていく姿を眺めたり……。それを見ながら、結婚のお祝いに頂いた額にある星野富弘さんの詩を思い出しました。

「いつだったか きみたちが空をとんでゆくのを見たよ  
風に吹かれて ただひとつのものを  
持って 旅する姿が  
うれしくてならなかったよ  
人間だって どうしても  
必要なものは ただひとつ  
私も 余分なものを捨てれば  
空がとべるような 気がしたよ」

軽やかに、自由にのびのびと風に吹かれて飛んでいくたんぼぼの綿毛の姿から生まれた詩。本当にその通りだなあとため息が出ました。いつの間にか色々な事や思いを背負い込んで、随分、肩の荷を重くしてしまっていることに気が付かされます。あれやこれやと考えすぎで心配の種を増やしたり、あれもこれもと欲張りになって荷物を増やしているのは自分自身なのです。

イエス様は言われました。

「明日のことまで心配しなくて良いのです。明日のことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。」  
もろもろの心配事や余分なものを捨てれば、綿毛のように身も心も軽やかに生きていける……娘と一緒に朝のお散歩を楽しみながら、青い空と心地よい風、一面綿毛のやわらかく優しい景色に、「私ももっと身軽になれるんだな」と心がふつと軽くなるのを感ずるのでした。





# ゴスペルコンサート&聖書のメッセージ

太平洋放送協会のラジオ番組「世の光」の特別企画として、ゴスペルコンサートを行います。ゲストは、ロックバンド**ナイト de ライト**。

バンド名は「暗闇に光を」という意味で、2006年に北海道札幌市で結成され「希望を歌うロックバンド」をコンセプトに活動している4人組です。

保育園や学校、高齢者施設、刑務所などにも出向いてライブを行う傍ら、日本国際飢餓対策機構の親善大使も務めています。

『終わらない夢』はコンサドーレ札幌の公式サポートソング、石屋製菓「白い恋人」のテレビCMにも採用されています。

明日への希望と生きる勇気に満ちた彼らの音楽をぜひお聴きください。

## ナイト de ライト



《日時》 **6月15日(土)**

開場 午後2時

開演 午後2時半(4時終了)

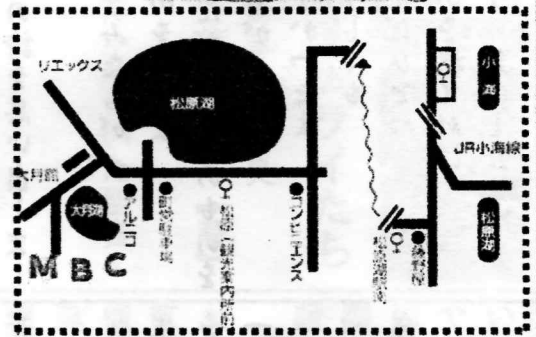
《場所》 **松尾湖バイフルキャンプ**

南佐久郡小海町豊里4912

☎0267-93-2347

★**入場無料**★

ただし、席上献金があります。



## 生活困窮者支援

山谷(やま)農場

### お米をお願いします！

お米の在庫が7月末に底を尽きる見通しです。ぜひ、お米をお寄せ下さい。2017年度以降の玄米をよろしくお願い致します。

〈連絡先〉藤田 寛

☎ 090・1436・6334

メール [nyoro@beige.ocn.ne.jp](mailto:nyoro@beige.ocn.ne.jp)

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、また

は、南牧村社協へ。〒384・1302南

牧村大字海ノ口966・15南牧村社会

福祉協議会気付 山谷農場

\*着払い送付はご遠慮ください。

\*土曜日の配達指定でお願いします。

山谷農場事務局(藤田) 小海町芦谷ヒルサ

イドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパニ振替〇〇二四〇・四・五三七九六

☆活動の近況などは、山谷農場フェイスブックをご覧ください。